



長

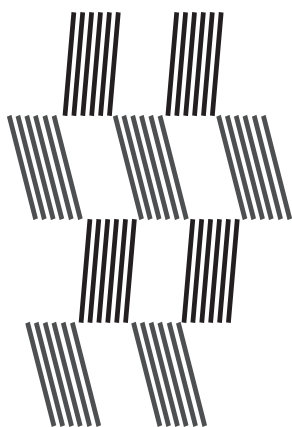


公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design

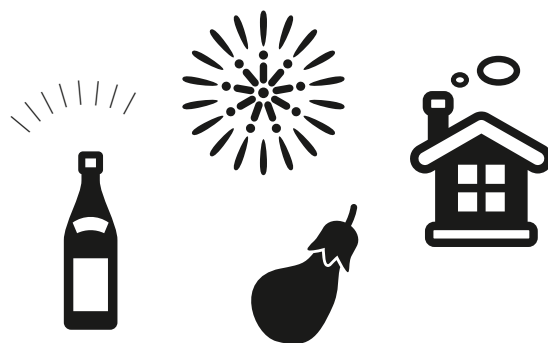
岡

4大学1高専 単位互換科目

単位互換科目の履修については、各校の事務局にお問い合わせください。申込み日程に注意ください。



学



長岡造形大学
教養科目
1年・前期
2単位

火曜日
3時限
(13:00~14:30)

オンライン形式
(Zoom)

2023

授業概要

長岡市は、豊かな自然を抱き、大河信濃川の恵を受け、古くは縄文時代から人びとの暮らしが続く地です。

また、世界有数の豪雪地帯で知られ、「米百俵の精神」や「長岡大花火」など一度は耳にしたことがある全国に知られる歴史や文化が育まれてきました。

この授業では、知っているようで、まだまだ知らない長岡市の歴史、文化、産業、行政、自然などについて、「長岡学」として市内4大学 1 高専、長岡市、地元産業界などの多彩な講師が様々な切り口で講義をします。

本授業を通して、みなさんの生活の拠点である長岡市について、広い視野で捉えることで魅力を発見し、愛着を持ちながら、自らの専門領域や将来の生活の中で役立てられるようになることを願います。

1

4.11 火

長岡市の概観・地勢 ガイドンスに代えて： ナゾナゾをといてみよう

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科・教授
渡邊 誠介



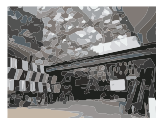
ガイドンスに代えてナゾナゾを通して、長岡市を概観する。

2

4.18 火

長岡市の行政

長岡市副市長
高見 真二



長岡人の心に息づく「米百俵の精神」で未来を担う次の世代に投資する政策とは。長岡市が進める若者におすすめの政策や長岡市の目玉政策などを紹介。

3

4.25 火

長岡市の自然 大地と生態系の今・昔・未来

長岡市立科学博物館
学芸員 星野 光之介



守門岳から日本海まで、長岡市に広がる多様な自然を紐解く。大地の成立、気候、植生、特色ある生物など、様々な視点から長岡の自然を学ぶ。

4

5.9 火

豪雪地長岡

長岡技術科学大学
教授 上村 靖司



長岡市は豪雪地ならではの独自の文化や技術が育まれてきた。消雪パイプに代表される克雪技術や夏まで雪を保存して活用する利雪技術などを紹介。

5

5.16 火

長岡市の歴史1 通史編 原始・古代から現代まで

長岡市立中央図書館文書資料室
室長 田中 洋史



長岡市域の歴史を、原始～現代の時代区分に沿って通史的に学ぶ。 火焰土器、長岡城、国漢学校、長岡空襲、中越地震などをキーワードに、地域の固有の「歴史」と「文化」を探る。

6

5.23 火

長岡市の歴史2 テーマ史① 北越戊辰戦争を読む ー長岡藩の一兵士の従軍日記からー

新潟県立歴史博物館
専門研究員 田邊 幹



長岡藩の一人の兵士の従軍日記から、一兵士の目には戊辰戦争がどのように映ったのかを読み解く。

7

5.30 火

長岡市の歴史3 テーマ史② 三六・三八豪雪

新潟県立歴史博物館
専門研究員 田邊 幹



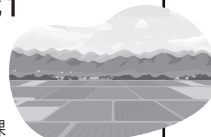
大きな被害となった昭和36年、38年の豪雪がどのようなものだったのか、なぜ歴史上の出来事として知られるようになったのか。豪雪・雪害の歴史とともに、近代史・現代史のなかから考える。

8

6.6 火

長岡市の産業・文化1 (農業)

長岡市
農林水産部農水産政策課



長岡市は、肥沃な土地と豊かな水により、稲作を中心に農業を営んできた。稲作、長岡産野菜の生産やブランド化、ICT技術を活用したスマート農業などの取り組みについて学ぶ。

9

6.13 火

長岡市の産業・文化2 (発酵)

長岡技術科学大学
技術科学イノベーション系・教授
小笠原 渉



発酵のまち長岡の最先端を学ぶ。発酵は、お酒や食品、医薬品のほか、バイオ燃料や污水处理などにも大きく関与している。国内で4箇所をのみの地域バイオコミュニティの取組についても紹介する。

10

6.20 火

長岡市の産業・文化3 (工業) 工業都市・長岡の誕生

長岡工業高等専門学校
一般教育科・教授
田中 聡



長岡の誕生から現在に至る400年余のあゆみを振り返りつつ、特に東山油田の開発にともなう工業都市(工都)への変貌について考える。

11

6.27 火

長岡市の産業・文化4 (医療・福祉)

長岡崇徳大学
看護学部看護学科・教授
平澤 則子



地元の生活に密着した医療福祉を知る。長岡市内で行われる看護教育の歴史と特徴、地域医療と地域包括ケアの取組を概観し、看護の視点から地元固有の文化、人々の暮らしについて考える。

12

7.4 火

災害と長岡

福島県立博物館
主任学芸員 筑波 匡介



長岡は、大きな地震のほか水害、土砂災害、豪雪などの自然災害と常に向き合っている地域でもある。新潟県中越地震を題材として、どのように復旧・復興してきたのか、災害からの復興とは何かを考える。

13

7.11 火

長岡市の商業・ビジネス 長岡市における大型商業施設の変遷

長岡大学
経済経営学部・准教授
生島 義英



昭和40年代、百貨店が大手通り沿いに4店舗店を構え、長岡駅前周辺が商業の中心地であった。中心市街地の商業施設変遷を示すとともに、どのような理由で商業の中心が郊外に移行したかのを考えていく。

14

7.18 火

長岡市の商業・ビジネス 長岡の魅力を活かした ローカルビジネスモデルについて

SUZUGROUP
(有) 寿々瀧
代表取締役 鈴木 将



飲食サービス事業から、食品販売、体験事業、宿泊事業まで地場食材を活かしたレストラン、グロースラント、宿などを運営するSUZUGROUP。当社の実体験をもとに、ローカルビジネスについて考える。

15

7.25 火

長岡市のまちづくりと今後の展望 長岡版イノベーションと若者に かける期待

NaDeC構想推進コンソーシアム
運営委員長(長岡造形大学 教授)
渡邊 誠介



長岡版イノベーションはあるのか。これまでの講義をもとに、今後の長岡市について総括する。